

摘果作業について県中央
農業改良普及センターの
担当者⑤から説明を受け
る部会員ら

柿「次郎」の摘果 品質向上へ講習

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA

伊勢玉城柿部会は、玉
城町の園地2カ所で柿



「次郎」の摘果講習会
を開いた。適切な時期
に摘果作業を行うこと
で品質を向上させ、安
定した収量を確保する
ことが目的だ。

当日は部会員21人が
参加し、県中央農業改
良普及センターの担当
者の指導をもとに、高
品質な果実を実らせる
ために不良な実を現時
点で落とす粗摘果作業
や、翌年のための新梢
(しんしょう)管理、
施肥、病害虫防除など
を確認した。

担当者は「安定した
収量を確保するため
には、摘果作業が重要。
品質向上のためにも、
適期作業を心がけてほ
しい」と呼びかけた。

柿「次郎」は大きな
四角形で、シャキシャ
キとした食感が特徴の
完全甘柿。干し柿にし
た「玉手柿」も人気
だ。同部会は部会員70
人が約23畝で栽培し、
中京や県内市場に出荷
している。